

巻頭図表

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) http://www.ide.go.jp
シリーズタイトル	情勢分析レポート
シリーズ番号	20
雑誌名	習近平政権の中国：「調和」の次に来るもの
発行年	2013
出版者	日本貿易振興機構アジア経済研究所
URL	http://hdl.handle.net/2344/00014653

巻頭表 1 党大会報告の大項目

第17回党大会	第18回党大会
1. 過去 5 年間の活動	1. 過去 5 年間の活動と10年間の基本的総括
2. 改革・開放の偉大な歴史的プロセス	2. 中国の特色ある社会主義の新たな勝利を勝ち取る
3. 科学発展観を深く貫き、徹底させる	3. 小康社会の全面的構築達成と改革・開放の全面的深化に向けた目標
4. 小康社会の全面的構築という目標の実現に向けての新たな要請	4. 社会主義市場経済体制の整備と経済発展パターンの転換を速める
5. 国民経済の立派で、急速な発展を促す	5. 中国の特色ある社会主義政治発展の道を歩むことを堅持して、政治体制改革を推し進める
6. 社会主義の民主政治を確固として揺るぐことなく発展させる	6. 社会主義文化強国の建設を着実に推し進める
7. 社会主義文化の大発展と大繁栄を促す	7. 民生の改善と管理の革新を進めるなかで社会建設を強化する
8. 民生の改善を重点とする社会建設の推進を加速する	8. 生態文明の建設を大きく推進する
9. 国防と軍隊の近代化建設の新しい局面を切り開く	9. 国防と軍隊の近代化を早急に推進する
10. 「一国二制度」の実践と祖国の平和的統一の大業を推進する	10. 「一国二制度」の実践を豊かにし、祖国の統一を推進する
11. 終始変わることなく平和発展の道を歩み続ける	11. 引き続き人類の平和と発展の崇高な事業を推進する
12. 改革・革新の精神で党建設の新しいプロジェクトを全面的に推進する	12. 党建設の科学化のレベルを全面的に高める

(出所) 佐々木智弘作成。

巻頭表 2 各党大会報告の「困難と課題」の対応

第17回党大会	第18回党大会
1. 経済成長で払った資源と環境の代償はあまりにも大きなものであったこと	1. 発展におけるアンバランスや調和の欠如、持続不可能の問題が依然として際だっており、科学技術革新の能力が強くなり、産業構造が不合理であり、資源・環境面の制約がますます厳しくなり、科学的発展を束縛している体制・仕組み上の障害がかなり多く、改革・開放を深め、経済発展方式を転換する任務はきわめて重い
2. 都市と農村、地域間、経済発展と社会発展のアンバランスであること	2. 都市と農村、地域間の発展の格差と人々の所得配分面の格差
3. 農業の安定した発展と農民の持続的な収入増加の難しさが増していること	3. 社会的矛盾が明らかに増え、教育や雇用、社会保障、医療衛生、住宅、生態環境、食料品・医薬品の安全、労働安全、社会治安、法律執行・司法など大衆の切実な利益にかかわる問題はかなり多く、一部の人の生活は比較的困窮している
4. 就業、社会保障、所得分配、教育・医療衛生、住宅、安全生産、司法、社会治安などの方面で大衆の身近な利益にかかわる問題がかなり多く目につき、一部の低所得層の生活が比較的困窮であること	4. 一部の分野では、モラルの規範から外れ、信義誠実にもとるケースもみられる
5. 思想モラルの建設の強化が急務となっていること	5. 一部の幹部は科学的発展を指導する能力が高くなく、末端における一部の党組織は軟弱でまともに欠けており、少数の党員幹部は理想が揺らいだり、党の宗旨に関する意識が薄れたりして、形式主義・官僚主義が目立ち、贅沢三昧や浪費の現象が深刻化している
6. 党の執政能力が新しい情勢にまだ完全に適応しておらず、改革・発展・安定のいくつかの重要な実際問題についての調査研究がまだ深く行われていないこと	6. 一部の分野では、消極・腐敗現象が発生しやすく、多発しており、反腐败闘争の情勢は依然としてかなり厳しい
7. 末端における一部の党組織が弱体化していること	
8. 少数の党員の作風がよくなく、形式主義、官僚主義といった問題がかなり目立っており、ぜいたくや浪費、消極的な腐敗の現象がなおかなり深刻であること	

(出所) 巻頭表 1 に同じ。

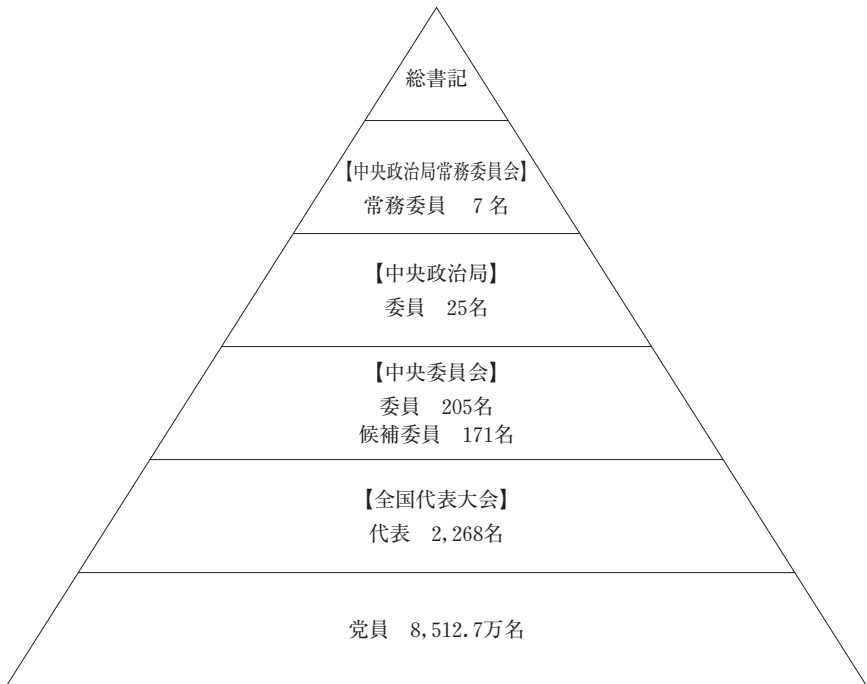
巻頭図1 中国共産党と国家機構



(出所) 巻頭表1に同じ。

(注) 2013年6月末時点。

巻頭図2 中国共産党の権力構造



(出所) 巻頭表1に同じ。

(注) 2013年6月末時点。ただし、党員数は2012年末時点。